

鳴門教育大 ○藤原康晴 梅花短大 川端澄子

目的 服装の評価に関連した研究において、どのような測定用語を設定するかがその研究結果に大きな影響を与えるが、これまで服装の測定用語そのものについての研究はみられない。本研究は、意味内容の類似度に基づいて服装表現用語をいくつかのクラスターに分類することを第一の目的とし、第二には、これらのクラスター相互の階層的構造を明らかにすることによって服装を表現する用語を大分類、中分類、小分類することを目的としている。

方法 服装を表現する60語を一語ずつカードに記入したものを束ね、これを各評定者に一組ずつ配布し、意味内容の類似していると考えるカードをまとめてグループ化するよう依頼した。全評定者のうちの何割がある用語と用語を同一グループに組み入れたかによってそれらの用語の類似率を計算して、60 x 60 の類似率マトリックスを作成した。このマトリックスをインプットデータとしてRモードクラスター分析を行った。

結果 服装を表現する60の用語のクラスター分析の結果、(1) シンプルでほっそり(2) かわいらしくて清楚、(3) 若々しく活動的、(4) 男性的な力量感のある、(5) 大胆で派手(6) 高級、ファッションナブル、大人っぽい、(7) 地味で平凡、(8) やぼったくて低俗 の8クラスターに分類できた。さらに、これらクラスターの高次構造を求めたところ、(1) と(2) が結合したクラスターと(3) が結合して 弱いイメージ のクラスターが構成されまた、(5) と(6) が結合したクラスターと(4) が結合して 強いイメージ のクラスターが構成された。